

クリスマスえほんまつり開催中☆

「ジングルベル ジングルベル…♪」

2025年もいよいよ最後の一か月となりました。寒さも本格的になり、世の中は一気にクリスマスムード一色となりました。皆さんも、今年もこのメロディーをもうどこかで耳にしたのではないのでしょうか。

市立図書館では、12月2日(火)～12月25日(木)まで「クリスマスえほんまつり」を開催します。(詳細は下記をご覧ください)館内もクリスマスの装飾やツリーの展示で、明るい雰囲気になっています。年内に読みたかった本や気になっていた本はありませんか?この機会に季節を感じるような本を手にとってみるのもいいかもしれませんね。

市立図書館は年内12月28日(日)まで開館しています。(年明けは1月4日(日)から)クリスマスや年末年始など、イベントが盛りだくさんですが、ぜひ本を楽しむくつろぎ時間を作ってみたらいかがでしょうか。

◇クリスマスえほんまつり◇

①ラッピングブック:児童室にてラッピングされた絵本を借りることができます。

中の本はお家で開けてからのお楽しみ♪

読んだことのない本との出会いがあるかも!

②冬のおはなし会:【12月7日(日)10時から】2階講座室にて開催!

パネルシアターなど道具を使った冬をテーマにした楽しいおはなし会です。

③クリスマス絵本展示:期間中児童室絵本コーナーにて、クリスマス絵本をたくさん展示中★



図書館にある「クリスマスの本」

- 『マン島の黄金』
アガサ・クリスティ―/著
中村 妙子/〔ほか〕訳(2004)〃
- 『ミセス・ポッターとクリスマスの町』
ラウラ・フェルナンデス/著
宮崎 真紀/訳(2024)〃
- 『雪の墓標』
マーガレット・ミラー/著
中川 美帆子/訳(2015)〃
- 『ボアロのクリスマス』
アガサ・クリスティ―/著
村上 啓夫/訳(2003)〃

- 『雪と心臓』 生馬 直樹/著(2020)
- 『ゆきの日』
菊田 まりこ/え・ぶん(2009)
- 『ほのかなひかり』森 浩美/著(2010)
- 『星の民のクリスマス』
古谷田 奈月/著(2013)
- 『ホットプレートと震度四』
井上 荒野/著(2024)
- 『プリンセス・ダイアリー クリスマスプレゼント篇』
メグ・キャボット/著
代田 亜香子/訳(2007)〃

- 『ラッピング・バイブル』
ラッピング協会/編(2008)
- 『まるごとクリスマス』
つかべ 美菜子/著(1994)
- 『ハロウィン&クリスマス
おまかせBOOK』
ひかりのくに編集部/編(2015)
- 『はさみで5分、初めての立体カード』
菊地 清/著(2010)
- 『発表会の手作りコスチューム』(2019)
- 『nanahoshiのお祝いおりがみ』
たかはし なな/著(2023)

令和7年12月1日
鶴岡市立図書館
鶴岡市郷土資料館
〒997-0036
鶴岡市家中新町 14-7
TEL (図)25-2525
(郷)25-5014
FAX 25-2526





12月の新着案内



リクエスト・予約開始は 12月12日(金) です

やまびこ号の次回巡回日は

月 日です

◎小説・エッセイ

- あの冬の流星 (朝倉 宏景)
- イオラと地上に散らばる光 (安壇 美緒)
- ひとり旅日和 [7] (秋川 滝美)
- アフター・ユー (一穂 ミチ)
- 蒼き海の涯に (伊東 潤)
- 緑十字のエース (石田 夏穂)
- 猫を処方いたします。5 (石田 祥)
- あーあ。 (織守 きょうや)
- ユー・ジニア (恩田 陸)
- 雷電 (梶 よう子)
- 豊臣家の包丁人 (木下 昌輝)
- オーロラが見られなくても (近藤 史恵)
- 白露 (今野 敏)
- 30の短編小説 (小説トリッパー編集部)
- ジャスティス・マン (佐藤 厚志)
- 暗闇法廷 (下村 敦史)
- 睡蓮 (白石 一文)
- 典雅な調べに色は娘 (鈴木 涼美)
- みずいらず (染井 為人)
- HACK (橘 玲)
- 犯人と二人きり (高野 和明)
- 世界はきみが思うより (寺地 はるな)
- 陽炎の旅人 (天童 荒太)
- チーム 4 (堂場 瞬一)
- 接物語 (西尾 維新)
- 闇中間答 (葉室 麟)
- たとえば孤独という名の嘘 (菅田 哲也)
- 筒井康隆エッセイ集成 1 (筒井 康隆)
- みんな大きくなったよ (本上 まなみ)
- 満月が欠けている (穂村 弘)
- 失踪願望。続々 (椎名 誠)

◎実用書

- フェイクに惑わされないための
情報を見抜く技術 (瀬戸口 誠)
- 本が読めない33歳が国語の教科書を読む
(かまど)
- 生きるための読書 (津野 海太郎)
- グリーンケアとアウトリーチ (金田 諦應)
- からだに聞いたところの秘密 (藤堂 ヒロミ)
- 人骨から復元する古墳時代の支配者
(辻 秀人)
- 恋する武士 (関 幸彦)
- 人間の心が分からなかった俺が、
動物心理学者になるまで(岡ノ谷 一夫)
- 罪と罰の古代史 (長谷山 彰)
- 相続道の歩き方 (中村 真)
- 正しい答えを導く質問力 (山口 拓朗)
- オーバードーズ (川野 由起)
- あきらめる勇氣 (松永 信也)
- 「休むと迷惑」という呪縛 (保坂 亨)
- 日本のきれいな鉱石図鑑 (五十公野 裕也)
- 微生物世界の探究 (山本 太郎)
- スキンケアの科学 (平山 令明)
- 更年期がラクになるセルフケア(高尾 美穂)
- がんばらないコンポスト生活(服部 雄一郎)
- ご当地パン大集合
- カスハラ対策の基本と実践 (能勢 章)
- 水車小屋のネネ挿絵集 (北澤 平祐)
- 中年に飽きた夜は (益田 ミリ)
- 大谷のバットはいくら? (熊崎 敬)
- ことばに潜むジェンダー (遠藤 織枝)
- 芥川賞候補作全部読んで予想・
分析してみました(杉江 松恋)

◎児童書

- 海底のサバイバル 1 (洪 在徹)
 - ぜつめつしたいきもの (今泉 忠明)
 - なんで人間にはしっぽがないの?
(東島 沙弥佳)
 - 虫と仕事がしたい! (丸山 宗利)
 - エイト! (嘉成 晴香)
 - 全国小学生おぼけ手帖 3 (田辺 青蛙)
 - ねぎのねぎしくん (戸森 しるこ)
- ### ◎絵本
- おつきさまいただきます! (おおの たろう)
 - おにぎりずかん (新井 洋行)
 - ハグのうた (おーなり 由子)
 - さかなをたべたあとのほね (加藤 休ミ)
 - ポンコルポン (キューライス)
 - ほんのむしのメメちゃん (コマヤスカン)
 - つまようじの王さま (二宮 由紀子)

=先月結果発表された賞=

第29回司馬遼太郎賞

受賞

『外務官僚たちの大東亜共栄圏』

熊本 史雄

作家司馬遼太郎の活動を記念し、毎年1回、広い分野のなかから、創造性にあふれさらなる活躍を予感させる作品を対象に選考する。2020年度の第24回では、郷土作家の佐藤賢一氏『ナポレオン』が受賞作となった。

受賞歴のある作家

沢木耕太郎・伊集院静・葉室麟・朝井まかて

新着図書は右記以外にもありますので、お気軽にお声がけください。新刊は、ホームページでもご覧いただけます。

